

浦部先生に 聞いてみよう!

憲法は変えなきゃ ダメですか、

憲法の役割と日本の未来

2012年4月、自由民主党憲法改正推進本部が
憲法改正の案を発表しました。

また、2012年12月の衆議院選挙の結果、
改憲をかねてから主張する安倍晋三内閣が発足し、
日本国憲法を改正しようという動きが活発化しています。
憲法を変えるためには、国民投票が必要となります。
私たちが1票を投じることになるのです。

しかし、私たちが憲法を正しく理解していなかったら、
正しい判断をすることはできません。

そこで、本集会では、憲法学者であり、参議院の憲法調査会で
憲法改正に関する意見陳述を行われるなど、
憲法の考え方を社会に発信し続けている
浦部法穂先生をお招きして憲法の役割は何か、
憲法を変えるということはどういう意味を持つのか、
そもそも日本国憲法ができた意義はどのようなものだったのか、
もし憲法が変わると日本と私たちの未来は
どのように変わるのか、お話をいただきます。

講演後は、先生に私たちの率直な疑問をぶつけながら、
日本国憲法の意義をみなさんと一緒に
考えていきたいと考えています。

日時

2013年4月27日(土)
午後2時開演(午後1時半開場)

場所

札幌市民ホール(第1・第2会議室)
札幌市中央区北1条西1丁目

講師

浦部法穂(うらべのりほ)先生

[講師略歴] 神戸大学名誉教授・法学館憲法研究所顧問。元神戸大学大学院法学研究科教授、神戸大学副学長、名古屋大学大学院法学研究科教授(憲法・国際人権法)。

著書に「憲法学教室」「ドキュメント『日本国憲法』」(日本評論社)「世界史の中の憲法」(共栄書房)など。

現在、法学館憲法研究所のHP (<http://www.jicl.jp/urabe/index.html>) で、「浦部法穂の憲法時評」を2週間に1度のペースで精力的に更新している。

資料代

500円

お問い合わせ

札幌おおぞら法律事務所
弁護士 渡辺麻里衣
TEL : 011-261-5715